

富山県

No.86 2018 年 1 月

中央植物園だより



第 20 回私の植物写真展入選作品「無題」 撮影 / 濱田八栄子さん

ハマメリス・インテルメディア（マンサク科）

中国原産のシナマンサクと日本に分布するマンサクとの交雑種で、中央植物園では富山県在来のもろばなしマンサクよりも早く、2 月はじめごろから咲き始めます。

第 14 回雪割草富山県大会

3 月 9 日（金）～ 11 日（日）に第 14 回雪割草富山県大会を富山雪割草の会との共催で行います。富山雪割草の会会員が丹精こめて作った多様な形や色の雪割草の花をご堪能ください。また、10・11 日の 2 日間は雪割草の栽培講習会も行います。



「第1回サボテン・多肉植物展」開催リポート

今年度あらたに「第1回サボテン・多肉植物展」を富山サボテン会との共催で行いました。

この時期開花しているサボテンの牡丹類（アリオカルプス属）を中心に、変わった形や刺が美しいサボテンのほか、最近人気の多肉植物のメセン類などサボテン会会員の作品約 290 鉢をサンライトホールに展示しました。また、展示を見ながらサボテンに関するクイズを解いたり、サボテンや多肉植物の苗の販売コーナーにもぎわっていました。

最終日は県内に大きな被害を及ぼした台風 21 号による暴風雨であったにもかかわらず、多数の来園者がありました。来年度以降の継続する予定です。



当初牡丹類の鉢数が揃うか心配されたが、最終的に 7 品種 24 鉢が正面を飾った。



サボテンクイズや苗の販売コーナーには人が絶えなかった。



展示期間中に開花したメセン類のリトープスやコノフィツム。

第11回 秋のラン展 開催リポート

11月17日～11月19日に第11回秋のラン展が開催されました。今年は富山県蘭協会会員の作品 258 鉢の展示のほか、特別展示「ダーウィンのランと共進化」と題して、ダーウィンのランとも呼ばれるアングレカム・セスキペダレの開花映像の放映と長い口吻をもつ受粉媒介者キサントパンスズメガの紹介パネルを展示しました。



園長賞を受賞した河原邦夫さんのデンドロキラム・コピアナム



サンライトホールに入ってすぐの入賞作品の展示はひときわ目を引く



アングレカム・セスキペダレの開花時に撮影した動画と展示解説

二口善雄画伯の植物画に見る園内の植物

富山県中央植物園には、二口善雄画伯（1900-1997）から寄贈された 1900 点余りの植物画が収蔵されています。その中から、1 月から 3 月の植物を紹介します。



レリオカトレヤ(1975 年 10 月 10 日制作)
横 38cm × 縦 54.5cm

12 月から 1 月にかけてはカトレヤの仲間の花が最盛期です。ラン温室だけでなく、1 月 5 日～8 日は新春カトレヤ展をサンライトホールで開催します。



プリムラ・マラコイデス（1976 年 1 月 8 日制作）
横 26.5cm × 縦 38cm

プリムラ・マラコイデスは園芸用に普及していますが、中央植物園では原種を雲南温室で見ることができます。



ツバキ「太郎冠者」（1990 年 3 月 6 日制作）
横 34cm × 縦 48.5cm

ヤブツバキをもとに改良された品種はサクラ・ウメ園からシイ・カシの森にかけて植えているほか、冬期には他の系統も入園口付近に鉢物を展示します。

富山の植物 ◎『コシノフユザクラ』 *Prunus* 'Koshi-no-fuyuzakura'

企画情報課 主任 大原隆明

コシノフユザクラは富山県中東部の庭園のみで確認されているサクラの栽培品種です。当園と「とやまさくら守の会」の共同研究により、全国で栽培される類似品種のフユザクラとはがくや葉の形状などに差異があることが判明し、平成 19 年に新品種として発表されました。今年 5 月に魚津市で開催された第 68 回全国植樹祭では皇后陛下によりお手植えされ、全国的に知られるようになりました。品種名は「越の冬桜」の意味で、名前どおり春以外にも晩秋から冬にも開花する二季咲き性品種です。また、一般的なサクラ類に比べて花弁が散りにくいというユニークな特徴もみられます。このため、当園では毎年、この押し花を使用した「散らないサクラカード」を作成し、入園された受験生やその関係者（先着 200 名）に配布しています。



図1. コシノフユザクラの春の花。花弁が散りにくいので、咲いたばかりの白い花と時間が経過した紅色の花が一枝に混ざる。



図2. 冬の花は春の花より小さく、楚々とした風情。

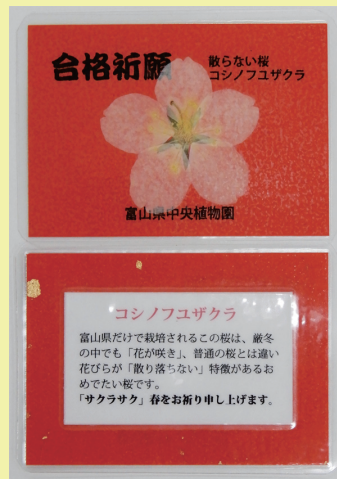


図3. 散らないサクラカード。平成 30 年は 1 月 6 日に配布。

アガベの開花

石川県のサボテン愛好家の方からアガベ「雷神」の花が咲いたので展示用にと寄贈され、これを高山・絶滅危惧植物室に展示しました。花茎の高さは11月30日現在で190cmにまで伸張り（写真①）、枝状に花序をつけています。

この仲間の花は「100年に一度咲く」という意味で英語では「センチュリー・プラント」といわれていますが、実際には自生地の熱帯地方では10～20年、日本でも30～50年に一度咲くことが知られています。また、開花するとその株は枯れてしまいます。アガベの自生地は北アメリカ南部、中南米の熱帯地方で、高い標高域にも分布します。

アガベというとテキーラやアガベシロップでなじみの方もいるかと思いますが。テキーラの原料はアガベ・テキラナの肉厚の葉から抽出した液を、アガベシロップは花茎から抽出した液をそれぞれ利用したものです。

写真①アガベ「雷神」の株、②花序、③果実



催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

第5回新春カトレア展

1月5日（金）～1月8日（月・祝）

平成29年度研究発表展

1月12日（金）～2月21日（水）

第5回クリスマスローズ展

2月23日（金）～2月25日（日）

第46回富山県蘭まつり大会

3月2日（金）～3月4日（日）

第14回雪割草富山県大会

3月9日（金）～3月11日（日）

サクラの企画展

植物園のサクラとさくらまつり

一藤森写真展（仮題）

3月16日（金）～

■特別開園

第7回さくらまつり

4月上・中旬の土・日を含む4日間

9:00～21:30

■講演会

平成29年度研究発表会

1月28日（日） 13:00～16:00

会場：サンライトホール（入園料が必要です）

■講座・講習会

栽培講習会

「クリスマスローズの栽培と管理」

2月24日（土）・25日（日）

両日とも13:30～15:00

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

栽培講習会

「ランの栽培と管理」

3月3日（土）・4日（日）

両日とも10:30～12:00、14:00～15:30

会場：管理研修棟研修室

栽培講習会

「雪割草の栽培と管理」

3月10日（土）・11日（日）

両日とも13:30～15:00

会場：ドリアスホール（入園料が必要です）

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー

第1,2,4日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール

ー園長と歩く植物園ー

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所／サンライトホール



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00（入園は16:30まで）
（11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで）

休園日 毎週木曜日

（4月第1,2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園）

年末年始（12月28日～1月4日）

入園料 大人（一般および大学生）500円
団体料金（20名以上）400円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
冬期入園料（12月～2月）
大人（一般および大学生）300円
団体料金（20名以上）240円
高校生以下ならびに70歳以上通年無料
年間パスポート（購入日より1年間有効）2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き（休日のみ）」に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分／富山市中心部より車で約15分／北陸自動車道富山インターより車で約15分／JR速星駅より車で約8分